

北九州市立文学館
第34回特別企画展

生誕
140年

「かわいい」のパイオニア

竹久の夢展

大正浪漫のマルチクリエイター

Takehisa Yumeji



【婦人グラフ】大正15年7月号表紙(七夕) (部分)

2024.
7.20(土) — 9.23(月・振休)

開館時間 | 9:30~18:00(入館は17:30まで) ※初日の展示室入場は開会式終了後の10:30から

休館日 | 月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)、最終日9月23日(月・振休)は開館

観覧料 | 一般 500円(400円) 中高生 200円(160円) 小学生 100円(80円)

※()内は30人以上の団体料金

- ・療育手帳提示者、身体障害者手帳提示者、精神障害者保健福祉手帳提示者及び付添人(身体障害者の方の付添は本人が4級以上)、北九州市免許返納特典カード提示者(条件あり)は無料
- ・公的機関が発行した北九州市、下関市、福岡市、熊本市、鹿児島市の65歳以上の市民であることを確認できる証明書提示者の割引は2割

主催 / 北九州市立文学館 企画協力 / 株式会社港屋

後援 / 朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、KBC、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、テレQ、CROSS FM



春の眼
【婦人グラフ】大正13年10月号挿絵



北九州市立文学館
Kitakyushu Literature Museum

今年は、大正浪漫の画家・詩人 竹久夢二の生誕140年にあたります。

1901(明治34)年、18歳で上京した夢二は、浪漫主義文学隆盛の潮流のなかで、「美をただの刹那に止めず永遠に残して見たい」(『私の投書家時代』)と、当初は詩や文章を表現手段としていました。しかし、「コマ絵」が雑誌に掲載されたことを皮切りに絵の依頼が増え、雑誌や新聞を舞台に画家として人気を得ていきます。

夢二といえば、愁いをたたえた大きな瞳が印象的な「夢二式美人画」が広く知られます。一方で、約100年前の日本で“かわいい”というキャッチコピーで、自らデザインした小物を売り出したり、雑誌や楽譜の表紙画、本の装幀、自身の画集や詩・童話などの画文集、小説の創作などを手がけたマルチクリエイターでもありました。夢二の自由な画風は、近代都市の形成が進み大衆文化が開いた大正期において一世を風靡し、今なお色褪せません。

展覧会では、木版画、日本画、水彩画、ペン画をはじめ、表紙や挿絵を手がけた雑誌・書籍・楽譜、画集・画文集などを展示し、夢二の多岐にわたる創作活動を紹介します。

また、関東大震災後の東京の様子を絵と文で記録した「東京災難画信」など夢二の社会派的な一面や、北九州とのかかわりもパネルで紹介します。



デビューした頃の夢二
1910(明治43)年



竹久夢二

1884年9月16日～1934年9月1日

岡山県生邑久郡(現・瀬戸内市 邑久町)生まれ。本名・茂次郎。1900(明治33)年2月、一家は現・北九州市八幡東区に転居、夢二は八幡製鐵所で製図筆工として働いた。01年に上京、翌年早稲田実業学校に入学。05年、雑誌や新聞にコマ絵が掲載され夢二と名乗る。同年、早稲田実業学校中退。09年、初の画集『夢二画集 春の巻』(洛陽堂)を刊行。14(大正3)年には自身がデザインを手がけた小物などを売る「港屋」を開業する。以降、画家、詩人、グラフィックデザイナー、翻訳家、小説家など幅広い分野で活躍する。31(昭和6)年から33年には欧米各国を訪問するが、病を得て帰国。34年、肺結核により逝去。

ある時ふと詩の替りに画で自分の心を語ろうとした。ところが文字よりも線の方が

自分の情緒を語るのに的しているように思われた。

「私の投書家時代」



紅茸の母(ペン画)
『どんたく』1913(大正2)年



夢二が表紙を手がけた楽譜(石版画)
左 セノオ楽譜No.53『歌劇 椿姫』1917(大正6)年
右 セノオ楽譜No.106『待宵草』1918(大正7)年



「東京災難画信一」(復写)
関東大震災で被災した東京の様子を絵と文章で伝えたもの。1923(大正12)年9月14日から10月4日まで『都新聞』に連載。



夢二の画文集
左から
『ねむの木』実業之日本社 1916(大正5)年
『歌時計』春陽堂 1919(大正8)年
『青い船』実業之日本社 1918(大正7)年



ノキナトウサン(オフセット印刷)
『日本少年』1925(大正14)年



EVENT 参加無料 1 2 は 申込要 7月3日(水)から電話受付(093-571-1505)

1 開会記念講話

講師 | 大平直輝さん(夢二研究者)
日時 | 2024年7月20日(土) 11:00~12:00
会場 | 北九州市立文学館 交流ひろば
定員 | 60名(先着)

2 講演会「詩人にならなかった夢二

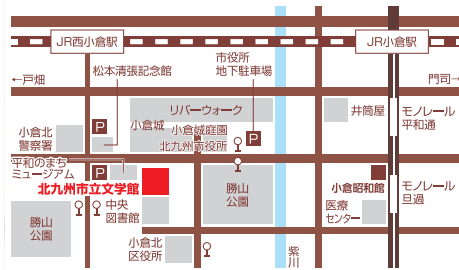
一大正ロマンに彩られた美と言葉より」
講師 | 石川桂子さん(竹久夢二美術館学芸員)
日時 | 2024年8月24日(土) 13:00~14:30
会場 | 北九州市立文学館 交流ひろば
定員 | 60名(先着)

3 学芸員によるギャラリートーク

日時 | 2024年7月27日(土)、
8月31日(土)、9月14日(土)
各回14:00から30分程度
定員 | 各回先着10名程度 申込不要

協賛上映 竹久夢二の半生を描いた映画2本を、詳細は小倉昭和館(093-600-2923)へ
小倉昭和館で上映

日時 | 2024年8月24日(土)~9月6日(金) 2本立て ¥1,500
上映作品 | ◆「竹久夢二物語・恋する」
(松竹 1975年/監督:斎藤耕一、主演:北大路欣也)
◆「夢二」
(リトルモア、マジックアワー 2023年 4Kデジタル完全修復版/
1991年製作 荒戸源次郎/監督:鈴木清順、主演:沢田研二)



アクセス
■JR小倉駅より徒歩15分
■JR西小倉駅より徒歩10分
■市立中央図書館・文学館前バス停より徒歩1分
■北九州市役所前バス停より徒歩2分
■小倉北区役所前バス停より徒歩2分
■北九州市高速大手町ランプより2分

駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい。

〒803-0813 北九州市小倉北区内4-1
TEL 093-571-1505 FAX 093-571-1525
https://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/



北九州市立文学館
Kitakyushu Literature Museum

“かわいい”大正浪漫カフェー

隣接する中央図書館「カフェーラポール」にコラボメニューが登場
オムライス、クリームソーダ、プリンなど大正浪漫の香り漂うメニュー



オリジナルグッズ、書籍

夢二のデザインを使ったオリジナルグッズ、夢二の関連書籍を販売



記念品プレゼント

①和服(着物、浴衣、じんべいなど)でご来場の方
②夢二の生誕日9月16日にご来場の方

